



平成20年度当初予算

総額 286億3,410万4千円

一般会計 162億700万円

桜川市の基本となる平成20年度当初予算が、平成20年第1回桜川市議会定例会において可決・成立いたしました。

市財政の中心となる一般会計予算額は162億700万円で、国民健康保険特別会計など7つの特別会計と水道事業会計を含めた予算総額では、286億3,410万4千円となり、平成19年度当初予算の合算額と対比して、約12.7%の減となっております。この大きな要因は、75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に伴い、後期高齢者医療広域連合へ移行したことによるものです。

今月号では、主に一般会計予算の概要を歳入・歳出別にお知らせいたします。

●平成20年度当初予算一覧

区分	平成20年度予算	前年度の当初予算との増減率(%)
一般会計	162億700万円	△1.4%
特別会計	国民健康保険	60億2,747万2千円 4.5%
	老人保健	4億9,787万2千円 △89.6%
	農業集落排水事業	4億1,495万3千円 △1.3%
	公共下水道事業	8億5,017万6千円 △25.1%
	介護保険	28億5,968万1千円 2.7%
水道事業会計	介護サービス事業	690万7千円 皆増
	後期高齢者医療	3億9,041万4千円 皆増
合計	286億3,410万4千円	△12.7%

歳入

市に入ってくるお金

一般会計の歳入のうち最も多いのが、一定の基準により国から配分される地方交付税で、全体の約3割以上を占めています。続いて多いのが市民税、固定資産税、軽自動車税などの市税。次の市債は、事業を実施するために国などから借り入れる収入です。そして、市が行う特定の事業に国から補助される国庫支出金、県支出金、繰入金、地方譲与税などの順になっています。

※(一)内は、構成比率

歳入の内訳

- 地方交付税 52億3,000万円 (32.3%)
所得税・消費税などの国税の一部を国から交付される収入
- 市税 47億7,970万7千円 (29.5%)
市民税、固定資産税、軽自動車税など
- 市債 13億7,080万円 (8.5%)
事業を実施するために長期的に国などから借り入れる収入
- 国庫支出金 11億8,442万8千円 (7.3%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して国から補助される収入
- 県支出金 7億9,563万5千円 (4.9%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して県から補助される収入
- 繰入金 5億7,475万5千円 (3.5%)
市の基金取り崩しによる収入
- 地方譲与税 4億330万円 (2.5%)
一定の基準により国から譲与される財源
- 繰越金 4億円 (2.5%)
- 地方消費税交付金 3億9,200万円 (2.4%)
- 諸収入 3億8,842万8千円 (2.4%)
- その他 6億8,794万7千円 (4.2%)



市民1人(二世帯) 当たりはこんな金額

市の予算を市民の皆さんに身近に感じていただくため、平成20年度一般会計予算の歳入(市税)と歳出を、市民1人(二世帯)当たりで表してみました。金額は、4月1日現在の人口と世帯で割ったものです。

- 市民の皆さんが負担する税を1人(一世帯) 当たり換算すると **98,388円 (326,148円)**
- 市政に使われるお金を1人(一世帯) 当たり換算すると **333,614円 (1,105,902円)**

※人口：4万8千580人、世帯：1万4千655世帯
平成20年4月1日現在

歳出

市民の皆さんのために使われるお金

一般会計の歳出では、民生費が最も多く、高齢者や障害者・児童などの福祉の充実が図られます。続いて多いのが市立学校や生涯学習振興などに使われる教育費。総務費は戸籍や広報、庁舎管理など市の運営に、土木費は、道路や公園の建設や修繕など都市基盤の整備に充てられます。続いて、健康促進、環境保全、ごみ処理などの衛生費、市の借入金の返済などの公債費、農林水産業費、消防費などの順になっています。

※(一)内は、構成比率

歳出の内訳

- 民生費 40億5,647万6千円 (25.0%)
社会福祉サービス、生活保護など
- 教育費 25億6,523万5千円 (15.8%)
市立学校、生涯学習振興など
- 総務費 19億9,892万8千円 (12.3%)
戸籍や広報、庁舎管理など
- 土木費 18億5,487万1千円 (11.4%)
道路や公園の建設や修繕など
- 衛生費 17億2,771万5千円 (10.7%)
健康促進、環境保全、ごみ処理など
- 公債費 16億9,618万8千円 (10.5%)
市の借入金の返済など
- 農林水産業費 11億2,550万7千円 (6.9%)
農林水産業の振興、基盤整備など
- 消防費 7億7,218万3千円 (4.8%)
防災対策、消防、救急救命活動など
- その他 4億989万7千円 (2.6%)



平成20年度 一般会計主要事業の予算

- ハード事業**
(建物の建設・修繕、道路整備など工事をする事業)
- 農林水産業費 ▶霞ヶ浦用水事業…1億7,684万円/林道整備事業(改築・改良)…4,303万円/かんがい排水路補修事業…2,460万円/排水路補修事業…1,853万円
 - 土木費 ▶道路新設改良事業…6億3,209万5千円/まちづくり交付金事業(岩瀬駅前・真壁地区整備)…4億4,718万9千円/道路維持事業…5,975万5千円
 - 消防費 ▶消防施設事業(消防ポンプ自動車購入)…2,600万円
 - 教育費 ▶大和中学校改築事業…6億7,059万円/小学校管理事業…9,261万5千円/史跡等保存整備事業…4,853万5千円
- ソフト事業**
(ハード事業以外の事業)
- 総務費 ▶デマンド交通運営事業…3,579万6千円
 - 民生費 ▶児童手当事業…3億6,199万円/障害者自立支援給付事業…3億3,085万1千円/生活保護支給事業…3億3,066万5千円/医療福祉事業…2億8,397万円/保育所入所児童委託料…1億5,181万円
 - 衛生費 ▶保健事業…4,930万円/予防総務事業3,994万5千円/ごみ減量化対策事業…3,642万9千円
 - 商工費 ▶地域振興事業…1,068万6千円
 - 土木費 ▶都市計画総務事業…500万円
 - 農林水産業費 ▶霞ヶ浦用水転作地等水利費補助事業…2,284万9千円
 - 教育費 ▶やまと幼稚園園児送迎バス委託事業…1,704万円/幼稚園就園奨励費補助事業…1,607万4千円/通学バス運行委託事業…1,580万4千円